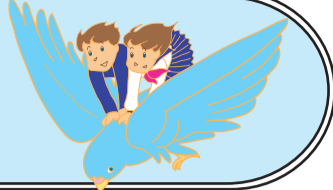


君とつばさ



平成30年10月10日
 発行・公益財団法人 交通遺児育英会
 〒102-0093 東京都千代田区平河町2-6-1
 (電話) 03(3556)0771
 (HP) http://www.kotsuji.com

©交通遺児育英会

つどい 67家族14人参加

共に励まし合い、勇気と希望を！

8月18、19日、交通遺児育英会は都内で「高校奨学生と保護者のつどい」を開催し、67家族141人が参加した。前半は、心塾東京寮生・共立女子大学3年の長洲亜美さんと保護者の北智美さんの講演。父や夫をなくし、その悲しみを乗り越え

開会の辞 「修学支援策の充実を」



菅谷定彦理事長
 育英会の菅谷定彦理事長は、「つどい」開会の辞で「育英会は来年5月に50周年を迎えます。昨年度から進学受験費用

補助と特別支援学校卒業生や生活保護受給者に対する返還免除、今年度からは普通自動車第一種運転免許と準中型自動車第一種運転免許の取得費用補助を実施しております。さらに給付型奨学金

てきた、それぞれの体験を語った。後半は、高校奨学生と保護者のつどい」を開催し、67家族141人が参加した。前半は、心塾東京寮生・共立女子大学3年の長洲亜美さんと保護者の北智美さんの講演。父や夫をなくし、その悲しみを乗り越え

(関連記事2面)



グループワークゲーム「パイプライン」

語学研修生31人、米・豪から帰国

語学研修生31人がアメリカとオーストラリアから無事帰国した。米国語学研修生30人は7月21日からロサンゼルス郊外のミッションビエホで3週間、現地の家庭にホームステイした。平日午前は英語の授業を受け、午後の課外活動では、科学センター、消防署などを見学したほか、

ハリウッドやディズニーランドなどの観光地を訪問。現地の学生たちと文化交流をはかった。AFS日本協会のプログラムに参加したオーストラリア研修生1人は7月20日から8月19日まで1か月間、オーストラリアの大自然を満喫しながら研修を行った。

(関連記事3面)



高奨生と保護者同伴で



の導入を検討しているところと述べた。

グループワークゲーム 高校奨学生64人、中学生以下10人が参加した。最初の15分間は互いに緊張を解くアイスブレイクゲーム。隣同士で手をつなぎ、全員で声を掛け合い、「リズム拍手」や「じゃんけん回り」、「ケンパ」などのゲームをするうちに、すっかり打ち解け合っていた。

その後、9〜10人の8班に分かれて、グループワークゲームを1時間余り楽しんだ。各自が出身地、名前、好きな食べ物、趣味などを記入して、3分以内で自己紹介する「ネームトス」や、ビーズを竹筒にのせてつないでいく「パイプライン」、目隠しをして縄をつないでいく「フラインドスクエア」など、四つのゲームを同時進行で行った。フィナーレを迎える頃に

保護者懇談会では活発に意見が交わされた。まず、出席者各人が自己紹介を兼ね、自分の仕事、子どもの学業や進学、子育ての問題などについて話し、それぞれの疑問や不安には、別の出席者が積極的に助言していた。「つどい」の意義については、「同じような境遇の人と話ができる」「講演での体験談を聞く

は互いに呼吸の合わせ方もぴったり。最後の20分は、各クラス30秒ずつゲームを振り返った感想を、「初めて会った人と自然に話をするきっかけになった」「ゲームは楽しかった」「体を動かすことができ、座って話したりするより良かった」などの意見が目立った。



活発な意見交換

ただき、大変ありがた」と好評で、進学受験費用補助にも、「子どもの進学の際はぜひ活用したい」と関心が高かった。また、子どもの心塾への入塾を検討している保護者も多く、職員の説明を熱心に聞いていた。時間いっぱい話が途切れることなく、懇談会を終えると、「とても恵まれたメンバーで楽しくお話ができました」「良い出会いになったと思えます」「相談すればすぐに対応しているいろいろな意見が聞けて良かった」と、出席者は満足そうに感想を述べていた。

奨学生募集中

8家族が個別相談会に参加
 8家族(保護者8人と同伴の高校奨学生4人)が個別相談を希望し、育英会職員が応じた。主な内容は以下の通り。
 ・今後の進路についての不安
 ・理学療法士を目指しているが、心塾東京寮と関西寮から通える専門学校を教えてください
 ・高専に通うが、海外語学研修に参加したい
 ・大学奨学金資与の時期について
 ・専門学校で資格が取れそうもない。就職が心配——など。

AC JAPAN
 A.C. JAPANは、この活動を支援しています。

56,000人の先輩たちがいる。

キミは、ひとりじゃない。
 これまで56,000人以上の交通遺児たちが進学の夢を叶えてきました。キミの未来は、キミだけのもの。先輩たちのように乗り越えてゆける。

社会のやさしさを交通遺児たちに。
公益財団法人 交通遺児育英会
 〒102-0093 東京都千代田区平河町2-6-1
 事務局 03-3556-0760
 101wase@kotsuji.com 交通遺児

本紙は、**宝くじ**の社会貢献広報事業として
 助成を受け作成されたものです。



ころ
 パチカン市国は、昨年7月に国連で採択された核兵器禁止条約に最初に署名した。

ローマ教皇が暮らした教会関係者に配った絵葉書には、長崎で被爆した少年が亡くなった弟を背負い火葬場へ待つ写真を印刷。条約発効への願いを込めた。今年6月、前田万葉・大阪教区大司教を枢機卿に新任。前田氏は長崎出身で、長崎教区司祭や広島教区司教を歴任。広島と長崎では教皇の被爆地訪問に期待が高まる。8月の広島市の平和祈念式で湯崎英彦広島県知事はこう述べた。〈核抑止のくびきを乗り越え、新たな安全保障のあり方を構築するため、世界の叡智を集めていくべきです。NPT運用検討会議も開催される2年後の被爆75年に向けて、今こそ世界に向けて立ち上がり、行動するべきです。私たち、そして世界中の子どもたちに、本当の安心をもたらしてやるために全力を尽くすことが、我々日本の大人たちの道徳的責任だと確信いたします。政府は核兵器禁止条約に署名していません。理由は「核廃絶への別のアプローチ」という。唯一の戦争被爆国の立場、被爆者の思いはどうなるのか。

講演 高校奨学生と保護者のつどい

心塾東京寮に在籍する共立女子大学3年の長洲亜美さんと、静岡県浜松市在住で大和ハウス工業に勤務の北智美さんが、交通事故で肉親を亡くした思いを語った。講演の要旨を紹介する。

やりたいことに積極的に立ち向かう



長洲亜美さん

父母、兄2人、私の家族5人で名古屋で暮らしていました。私が生後6か月の頃に父は交通事故で亡くなりました。事故当日は父の誕生日で、兄2人の運動会の日でもありました。

私は父を亡くしたことを周りの友達には絶対言わないようにしてきました。それは周りと違うと思われたくなかったからです。運動会や親子で参加する学校行事に、周りのみんなは父親が来ている中で、自分は母親だけ友達に話す時は「仕事で忙しい」などごまかしていた自分がいました。幼かった自分は「なんで私の家だけ……」と思うことが多々あり、自分の家庭が嫌になることも多かったです。



講演に聴き入る高校奨学生と保護者

1校しか受けない予定でした。だけど、願書提出期限の前日に「もう1校受けて」と母に言ってもらいました。当時の私は母に遠慮がちで自分の意志で何かを決めることが少なく、これが自分の意志を通じた最初の経験だったと思います。このときを境に自分が成長して自立した気がしました。残念ながら公立は落ちてしまい、合格発表と一緒に見た母が涙を流していたのがいまでも思い出浮かびます。母に薬をさせてあげられなかった悲しみの方が大きかったです。私は私立高校に通うことになりました。このことは、高校時代はアルバイトをして金銭的に母には頼らずに自分でしっかりしていこうと思えるきっかけになりました。大学進学を決めるのも簡単ではありませんでした。母は私に高校卒業後は就職してほしいということでした。兄2人が大学と専門学校に進学し、教育費のことがあったからです。しかし、私が大学に行きたいとしっかり伝えたら理解してくれて、今の大学に通わせてもらっています。迷惑をかけまいとアルバイトをして母からの援助はあまり受けていません。自分ができることはしっかりこなして、自分のやりたいことに積極的に立ち向かう姿勢で、生活していくつもりです。

心塾では成人をみんなに祝ってもらいますが、みんなの前で先輩が読んでくれた母からの手紙には、「今までたくさん我慢させてしまっただけね。私の子に生まれてきてくれてありがとう」と書かれていました。その言葉を聞いたときには涙が溢れました。母とこころなごうがいてくれたから、今の私があります。今まで生きてきた20年間で辛かったり悲しかったりした時期もありましたが、両親のおかげで、「命の尊厳や人を思いやる心、家族と支え合うこと」を



北智美さん

「がんばれ!」なんて言わない

わが家の主人は35歳で天に旅立ってしまいました。12月18日の夜、家のベランダから見える横断歩道で車にはねられ、それから1週間後、クリスマスの日だった。

参加者の声 アンケートから

高奨生 「母親の苦勞が分かった」

保護者 「子どもの気持ちが聞けた」

「つどい」全体について、保護者66人、高奨生64人が寄せた回答では、高奨生の81%、保護者の97%が「良かった」と答えた。理由は、高奨生は「いろいろな意見を聞いてよい影響を受けた」、保護者は「経緯を知り、人々との交流による、癒やし、安心、心の解放」が最多。長洲さん、北さんの講演については、高奨生、保護者いずれも「良かった」の好評価が9割を超えた。長洲さんの講演には「夢を諦めずに進むことや、親への感謝を忘れないことが大事だ」との感想を述べた。高奨生は「つどい」全体について、保護者66人、高奨生64人が寄せた回答では、高奨生の81%、保護者の97%が「良かった」と答えた。理由は、高奨生は「いろいろな意見を聞いてよい影響を受けた」、保護者は「経緯を知り、人々との交流による、癒やし、安心、心の解放」が最多。長洲さん、北さんの講演については、高奨生、保護者いずれも「良かった」の好評価が9割を超えた。長洲さんの講演には「夢を諦めずに進むことや、親への感謝を忘れないことが大事だ」との感想を述べた。

小学2年の長女は「ママ死んじゃだめだよ!」と号泣しながら私にしがみついてきた。それを見て、4歳の次女も泣きながら抱きついてきて、3人で大泣きした。あの日から娘たちの前では泣くこともできず、仕事の帰路で涙を流していた私。主人がいなくなり、ただでさえつらい思いをしてる娘たちに、とにかくお金のことを心配させたくなかった。昔、主人と一緒に働いていた会社の社長や上司のご厚意で、そこに戻りた私。結婚してからの10年間、専業主婦と介護の世界にいたので、10年というフラクを埋めるのは大変だった。家事を近所に移り住んでくれた両親や妹にお願いし、働き続けた。成長した娘たちは「ママがいつか死んだらどうしよう」とか、今があるんだよと私を責めてくれる。私はいまだ主人の死を乗り越えていない。それでいいと思っている。だつて大事な人を亡くした

「つどい」2日目、希望者5家族9人が東京・日野市の心塾東京寮を見学した。見学者は、大ホール、図書室、会議室、食堂、浴室や洗濯室などの共同

5家族9人が心塾を見学
「つどい」2日目、希望者5家族9人が東京・日野市の心塾東京寮を見学した。見学者は、大ホール、図書室、会議室、食堂、浴室や洗濯室などの共同

施設を見学。続いて、1人部屋の居室を男子寮、女子寮の順に見学した後、食堂ホールで施設利用の規則や寮生活の心得、大学や専門学校への通学例、講座や年間行事について職員が詳しく説明した。

また、関西寮の入寮の状況や、設備等についても説明した。



母と妹、祖父母の家族5人、皆大好き
2年 花田 麻里菜
お父さんが亡くなって今年で12年。お母さん、これまで育ててくれて、ありがとう。運動会では朝早くからお弁当をたくさん作ってくれて、他の家族より大きな声で声援してくれましたね。うれしかったです。授業参観も全部見に来てくれて、妹の方と半分ずつ見ていたのを思い出します。いつでも味方でいてくれて支えてくれるから、すごく心強いです。保育園のときから「子どもたちには、これ以上悲しい思いをさせたくない」と言っていて、ずっと仕事と子育てをがんばってくれて、ありがとう。これからも苦しいこと、つらいことがあると思うけど、3人で支え合っていこうね。

おじいちゃんはお父さんが亡くなってから、父親代わりでした。入学式と卒業式には必ず、また他の学校行事にも参加してくれて、本当にうれしかったです。小学生のころは、夏になると毎年庭でそう

2年で英語検定2級に合格することができたことは、自信につながりました。現在は、英語検定準1級の取得を目指し、日々勉強に励んでいます。部活動の面ではYWC Aという部に所属し、児童館や幼稚園、老人ホームに行ったり、募金活動をしたりしています。大変なことも多いですが、やりがいがあり、楽しいです。

私はこんな家族が大好きです。(福岡県) 英検準1級を目標にYWC Aで部活動も

3年 柳町 美有
学習の面では全教科まんべんなく勉強することができています。とくに倒すのかというところに、おもしろさがある。そして、それは世界史全般のおもしろさに通じる。どのような戦いがあり、どんな人物が活躍しているのか、それを知るだけでワクワクしてきます。せひ、世界史を学ぶことのおもしろさを、感じてほしい。(新潟県)

高校生の声
「ハレルヤ」を歌います。3年の先輩方が学年合唱中に感極まって泣いていたのが印象的でした。クリスマス礼拝の存在の大きさ、このメンバーで歌えることのありがたみを強く感じました。最後に歌う「ハレルヤ」は伴奏で、この瞬間に立ち会えるのも今年度が最後ののだと思い、昨年度以上に心を込めて歌おうと思います。努力して多くを学び、豊かな経験につながりたいです。(宮城県)

2年 土田 向陽
つに分かれていて、それぞれの国の王、曹操(魏)、劉備(蜀)、孫権(呉)が、中国の統一を目指して戦った。それをまとめた歴史書である。人気の理由は三者の力関係、最も強いのは呉王・孫権だが、その孫権を他の二王がどのようにして

のだもの。割り切る必要はないんじゃないかな。でも、思うのは「どうにかなる」ってこと。「がんばれ!」なんて言わないでいい。交通事故被害者家族はもう十分がんばっているのだから。

懇親会
夕食を兼ねた懇親会は、高校奨学生と保護者が2つの広間に分かれて、いづれもグループワークゲームや保護者懇談会と同じグループでテーブルを囲んだ。

直前の催しで互いにすっかり打ち解けた後なので、会話も大いに弾んだ。中締め後は、そのまま会場に留まり、新たに別テーブルの仲間も加わり、話し込む姿が目立った。

母と妹、祖父母の家族5人、皆大好き
2年 花田 麻里菜
お父さんが亡くなって今年で12年。お母さん、これまで育ててくれて、ありがとう。運動会では朝早くからお弁当をたくさん作ってくれて、他の家族より大きな声で声援してくれましたね。うれしかったです。授業参観も全部見に来てくれて、妹の方と半分ずつ見ていたのを思い出します。いつでも味方でいてくれて支えてくれるから、すごく心強いです。保育園のときから「子どもたちには、これ以上悲しい思いをさせたくない」と言っていて、ずっと仕事と子育てをがんばってくれて、ありがとう。これからも苦しいこと、つらいことがあると思うけど、3人で支え合っていこうね。

おじいちゃんはお父さんが亡くなってから、父親代わりでした。入学式と卒業式には必ず、また他の学校行事にも参加してくれて、本当にうれしかったです。小学生のころは、夏になると毎年庭でそう

2年で英語検定2級に合格することができたことは、自信につながりました。現在は、英語検定準1級の取得を目指し、日々勉強に励んでいます。部活動の面ではYWC Aという部に所属し、児童館や幼稚園、老人ホームに行ったり、募金活動をしたりしています。大変なことも多いですが、やりがいがあり、楽しいです。

私はこんな家族が大好きです。(福岡県) 英検準1級を目標にYWC Aで部活動も

3年 柳町 美有
学習の面では全教科まんべんなく勉強することができています。とくに倒すのかというところに、おもしろさがある。そして、それは世界史全般のおもしろさに通じる。どのような戦いがあり、どんな人物が活躍しているのか、それを知るだけでワクワクしてきます。せひ、世界史を学ぶことのおもしろさを、感じてほしい。(新潟県)

異文化交流 新たな発見

語学研修レポート

語学研修生31人は今夏の語学研修で、自分の進むべき指針となる体験をしたようだ。研修報告書の一部を紹介。全文は当会ホームページに掲載。(敬称略、写真は米国研修から)

アメリカ

家族のように受け入れ

高柳 玲央
ホストファミリーがゆつくりの解りやすい文章でたくさん話しかけてくれたおかげで、耳が徐々に慣れていき、落ち着いて会話することができるようになりました。そして僕に、さまざまな経験をさせてくれました。パーティーや、映画館、コンサートなど色々な所に連れて行ってくれました。僕を本当の家族のように受け入れてくれたことが何よりも嬉しかったです。考えずに話せるように



午前中の語学研修

高橋 里草
ホストファミリーから毎日、「今日は何を学校で勉強してきたのか」「アクティビティはど



アートレッスン

ゲームしながら英語を

村松 朋哉
月曜日から金曜日まで毎日午前中に授業を受けていました。みんなゲームをしながら英語を学んだり、英語で前置詞について説明したりと、楽しくもあり、難しくもあり



ディズニーランド

この経験は私の宝物

倉持 れな
学校では、みんな個性のなファッションで、すべての人がおしゃべりに見えました。ディズニーランドにも連れて行ってもらったし、野球のエンジェルズ戦も見に行けたし、そこで、大谷選手を間近で見られました。さよならパーティーでは、一番盛り上がり、帰りたいと思いませんでした。夏休みになんかに楽しい思いは初めてです。ファッションの勉強にもなりました。この経験は私の宝物です。

アメリカ力を満喫した

星野 カ斗
午後からのアクティビティでは、アメリカ力を満喫しました。現地の人々とも会話をする機会があ

ました。日本では習わないうようなアメリカ独特の表現の仕方や、ふだん日本でも使うような英語の省略形などを学ぶことができました。学校での一番の思い出は、クラスのみんなとキックベースをしたことです。自分にとって学校は友達と遊んで、その友達と楽しい授業を受けることができる、かけがえない場所でした。

多くのことを学べた

安東 遥香

本当に多くのことを学べて楽しい3週間でした。また、留学のメンバーと仲良くなれたこともこの留学が楽しかった理由の一つだと思います。日本全国に友達ができるのは貴重な機会だと思います。これからもずっと連絡を取り続けたいと思います。



サクラメンティーチ

失敗を恐れずに挑戦!

小川 桃香

私は今回の語学研修で失敗を恐れず色々なことに挑戦しました。アメリカに行く前の私は考えられませんでした。この貴重な経験を通して新しい目標ができました。それは大

力に行く前の私は考えられませんでした。この貴重な経験を通して新しい目標ができました。それは大



バーベキューパーティー

別れのときが寂しく

水口 大輔

2800級の山に行ったり、パドルボードやカヌーを体験したり、僕たち2人が楽しめる場所に、ホストファミリーはたくさん連れて行ってくださいました。ホストファミリーの子供たちは、テーブルホッケーやダーツなどをして、とても仲良くなりました。別れのときが寂しかったです。

最高のホストファミリー

山口 晃登

ホストファミリーは簡単な単語にしてゆつくりと喋ってくれ、私が拙い英語をたどたどしく喋ると、理解しようと真剣に聞いてくれました。言っていることは理解できて

も、それに英語で上手く返すことができず、話したいことの半分も話せなくて、それが悔しくて。「上手く話せなくてごめんさい」と謝ると、私にも理解できるようにゆ

色々な国の料理を食す

土屋 香

ホストファミリーとの夕食ではホストファミリーはメキシコ出身、ホストマザーはスウェーデン出身だったので、アメリカらしい食事だけでなく、メキシコやスウェーデンの料理などたくさんさんの国の料理を出してもらえました。休日には教会やお祭りに連れて行ってもらうことができました。



さよならパーティー

4週間のタスマニア

秋山 ゆい

4週間のタスマニア留学で、私はたくさん成長できたと思います。異国の地で、なれない生活に最初は戸惑いながらも、優しいファミリーの助けもあって、楽しく過ごすことができました。

来年は兄弟ダブルスで優勝!

青森大学薬学部薬学科2年 庄司紫音さん

森大学薬学部薬学科2年の庄司紫音さん(19)は、テニスをしていた父・正人さん(48)の影響で、10歳のときから硬式テニスを始めた。スポーツ推薦で大学に入学し、授業料免除の特待生である。



庄司 紫音 さん

青森大学 薬学部薬学科 2年

傷で済んだが、正人さんは頸椎損傷の重傷を負った。母・理恵さん(46)は、少しでも正人さんのリハビリに役立つようにと、事故後に自ら命名したそうである。



右/昨年の全日本選手権大会にはダブルスで出場左/高校時代は東北大会で優勝

残

念ながら、今年の全日本選手権大会で優勝

「大学は東北一部リーグの強豪です。昨年はシングルスでベスト16、ダブルスはベスト8。ダブルスではインカレ(全日本学生テニス選手権大会)に出場しましたが、シングルスでは残念ながら出場を逃しました」

高校は宮城県気仙沼市の私立東稜高校で、地元山形県酒田市の実家を離れての寮生活。高校でもスポーツ特待生で、東北大会で優勝し、全国大会に出場している。

「高校の東北大会の試合をいまの大学の監督が観戦していて、うちに来ないかと誘われて。僕自身も薬学部があったので、僕自身が強い所に進みたかった。ちょうどいいかなと思って。下にきょうだいが続いているので、スポーツ推薦でなければ、進学は厳しいと思っていたものですから」

庄司さんが小学4年の「元日の早朝、正人さんと当時小学2年の次男の璃音さん(高3・18)、小学校に入る前の長女・桃音さん(高1・16)の4人で、車でテニスの練習に行く途中、交通事故を起こした。凍った路面でスピンし、反対車線に出て大型乗用車と正面衝突。幸い、子どもたちは軽

はばたく



家でアロマ整体院を開業した。事故前は水道関連の仕事に就いていた正人さんは、現在は地元の市役所でパートとして働く。体の状態は、車椅子から杖を使って歩行できるまでに回復。きょうだいは、桃音さんの下にも、中学3年の三男・紅音さん(15)と小学6年の四男・柁音さん(12)がいて、7人家族だ。

きょうだいの名前が特徴的

さて、テニス部での活動と6年制の薬学部での勉強の両立というのは、かなりハードルが高いと思われるが、庄司さんがあえて挑戦したのは、次のような理由がある。

「父が事故で頸椎損傷になり、母が家事など一人で何もかもやるようになって体を壊し、常飲する薬も増えていき

ました。それを知り合いの薬剤師さんが心配して、『飲む薬の種類を少し減らした方がいい』とアドバイスしてくれました。そのとき、薬剤師はただ薬を手渡すだけではないのだと興味を持ち、しだいに薬剤師になりたいと思うようになったのです。ゆくゆくは地元の病院で薬剤師として働きたいと思っています。もちろん、父の体のことも影響

を受けて、来年は雪辱を果たそうと期するところがある。

「2年になって学科の実習も増え、前期1科目追試を受けることになって。勉強に追われて練習にもなかなか顔を合わせない日が続いています。とあえずいままは、追試に合格することが目標。でも来年は、チームも一新して強化されると思います。がんばりたいですね。実は弟(次男)も僕と同じ東稜高校で、青森大を志望していて、スポーツ推薦で入学してくると思うんです。東北大会で優勝しているんですよ。兄弟でダブルスを組み、東北大会を勝ち上がり、全国大会で強豪が揃う関東勢に、矢張り、東北勢の名を上げたいですね」

母の日に「おごりごり」調理師に

上野将直さん(19)は静岡県浜松市の浜松調理菓子専門学校に通う。将来は日本料理かイタリア料理の調理師を目指す。



調理師の専門学校に入ろうと思ったのはどうして？
 学生のときから料理が好きで、母の日に自分でおにぎりを作って母にあげたら、『おいしい』と喜んで食べてくれたのが忘れられない

夢まっしぐら

うえのまさなお
 上野将直さん

浜松調理菓子専門学校 調理師本科2年

中・高とおいしいものに目がなくて、家で自分で作って食べられたらいいなと思ったのがきっかけです

調理師本科ではどんな学生たちは自分のペラの用紙にメモし、自分のレシピを完成させるのです。卒業する頃には、メニューが300ほど、レシピの分厚さは5センチ



この日は西洋料理の実習で、ラビオリを調理

調理実習があるのですか？
 「月曜から金曜までほぼ毎日実習があり、日本料理と西洋料理、中華料理が日替わりで組まれています。授業は午前9時から午後4時半まで。1学年13人で、調理実習は3〜4人の班に分かれての共同作業です。役割分担して段取りしていくので、その連携に気を使いますね。実習では料理の基礎をぜんぶ習います」

卒業までに膨大な調理レシピが積み上がりますね。
 「先生が最初にメニューの材料を白板に書き、実際に調理のお手本を示しながら、そこでのポイントを口頭でアドバースしていきます。それを上になります。それを自分だけの『卒業レシピ』として、1冊にまとめるんです」

好きな料理のジャンルは何ですか？
 「パスタ料理やピザが好きなので、イタリア料理ですね。最近では日本料理もブームだから、そちらにも魅力を感じています。盛り付けの端正さが一番好きです。また、魚のおろしで包丁さばきがのびるので、もっと練習して、素早く均等にきれいに切り分けできるようにならないと」

授業は実習の他には？
 「栄養学や食品衛生、食文化などについて学びます。ただし、栄養士などの資格はとれないです。現場で役立つ実践的な調理実習が中心です」

卒業後の進路は？
 「卒業生は、ホテルや旅館の厨房、学校の給食など、集団的な調理の部門に入る人が多いですね。そろそろ僕もイタリア料理か日本料理のどちらに進むか、決めなくては。いま調理師はとも人手不足で、就職内定が1人に何件も集まる状況ですが、名古屋や静岡など実家に近い浜松周辺で、就職を考えています」

オンステージ

愛知刈谷市に本社のあるサンエイ株式会社は、企業の生産活動をトータルにサポートしている。事業部門は、建設・重機・物流・サービス・環境・車両など七つある。事業内容は、工場や事業所の建設、土木工事、造園工事から、大型設備や生産ラインの新設・移設・解体、施設の管理支援、また、部品(製品)の梱包・輸送・保管、さらには、廃棄物処理、処分、施設清掃、フォークリフトや車両の整備、部品の組み付け、と多岐にわたる。事業所は愛知県を中心に、北海道、東北、東海、近畿、九州、海外はインドネシアに展開。従業員数約1600人の中堅企業だ。

「ふだんは定時で帰れますが、請求書が集中する時期はすごく忙しいですね。榊原さんは、市役所に勤務する夫・崇史さん(35)と1歳半の悠真君と、岡崎市に住む。通勤には1時間ほどかかる。朝は、悠真君を岡崎駅の近くにある保育園に送り、出社するといふ、あわただしい毎日を過ごす。

「この4月に職場復帰しました。産休と育休で昨年1月から今年3月まで休ませてもらっていました。いまは午前8時から午後3時までの『時短』で働いています。会社では私のように総合職で職場復帰する方が

夫と息子と3人でバーベキューを

多いんです。同じ部署にも子どもを3人産んで復帰した方がいて何かとサポートしてくれて、私の体調を気に遣ってくれます。上司も事あるごとに『大丈夫？』と優しい言葉をかけてくれるなど、会社全体が女性従業員の職場復帰に理解がありますね」

たまにある残業のときは、崇史さんが悠真君の保育園の迎えや夕食、入浴、寝かしつけもやってくれる。「公務員で比較的定時で仕事が終わるやすく、元々子どもも好きで一人暮らしが長かったせいか、家事も半分以上手伝ってくれます。

榊原さんは中京大学心理学部を卒業し、2007年4月に同社に入社した。「初めは心理カウンセラーを志望していましたが、人見知りの性格の自分にはとても無理だと思い、企業の事務職に変更したんです。結婚・出産しても職場復帰する総合職の女性が多い社風に魅力を感じました。仕事は一生続けようと思っていましたから」

さかきばらちえみ
 榊原 千絵美さん
 サンエイ株式会社総務部調達課



榊原さんは中京大学心理学部を卒業し、2007年4月に同社に入社した。「初めは心理カウンセラーを志望していましたが、人見知りの性格の自分にはとても無理だと思い、企業の事務職に変更したんです。結婚・出産しても職場復帰する総合職の女性が多い社風に魅力を感じました。仕事は一生続けようと思っていましたから」

「お盆と正月は皆で実家に集まります。母はバイオリティがあるって、実家近くで週に2回の卓球と、それが終わると近くにある叔母の自宅で、おしゃべりを楽しんでいるようですよ」

「父とは、バーベキューなどアウトドアで遊んだ記憶がありません。だから、息子がもう少し大きくなったら、ぜひやってみてくださいね。それがいまの私の夢です」

打ち勝つチームになるのが目標

はつらつ

おほん きゅうた
大判球太さん

新田高校2年 硬式野球部

今 夏、愛媛県松山市の新田高校硬式野球部は、県大会で決勝に進出したが、済美高校に2対8で敗退し、一昨年に続き準優勝に終わった。ちなみに済美高校は、甲子園の準決勝まで進み、春夏連覇の大阪桐蔭高校に敗退。県下には強豪校がひしめき合っている。代表の栄冠を勝ち取るのは並大抵ではない。

同校2年の大判球太さん(17)は、県の決勝戦では9番・ライトで出場した。「決勝戦では済美に『打ち負けた』というのが実感です。その悔しさをバネに、新チームを引っ張る役割を担う。「センターは外野守備の中心なので、常に声をかけて外野手の連携をとるように心がけています。上位打線の1、2番を任せられたのは、50メートル走6秒5と、チームの中で足が速い方なので。とにかくどんな形でもいいから出塁し、主軸(3、4番)につなげたいですね」

訪ねたのは、9月半ばの秋季四国大会の地区予選に向けて新チームでの練習をスタートしていたときだった。午後3時20分に授業を終え、掃除とホームルームを経て野球グラウンドで練習を開始する。ラウンドで練習を開始するのは午後4時から。ナイター設備も整って練習は夜8時まで続く。走塁練習からキャッチボール、守備練習、打撃練習へと流れるようにこなしていく。週末は連係プレーなど

を取り入れた実戦練習を丸一日行い、練習試合の遠征も入る。部活は週一休み。休養や自主練習に時間を使う。帰省するのはお盆と正月くらいだ。「僕の打撃フォームは足を上げてタイミングをとる型なので、できるだけボールが手元にくるまで長く見るようにし、体が突っ込まないように注意しています」

打撃練習ではミートポイントを確認、コースの見定めで選球眼を養う。また、バント練習にも余念がない。走塁練習ではひととき元気に走る姿が目立った。勉強の方は数学が得意で英語は苦手という。試合で遠征のときはチーム仲間のお母さんが弁当を作ってくれたり、「こつこつと充実した生活を送れるのも母ががんばってくれているから。大事な試合があるときは必ず応援に駆けつけてくれるんです。本当に感謝しています」



部員は1、2年生が41人。女子硬式野球部もある

ムではとにかく『打ち勝つ』ことを目標に、練習に励んでいきたいですね」

3年が抜け8月に編成した1、2年中心の新チームでは大判さんは打順は1、2番、守備がセンターに移り、チー

ムではとにかく『打ち勝つ』ことを目標に、練習に励んでいきたいですね」

ラウンドで練習を開始するのは午後4時から。ナイター設備も整って練習は夜8時まで続く。走塁練習からキャッチボール、守備練習、打撃練習へと流れるようにこなしていく。週末は連係プレーなど

大判さんが野球を始めたのは小学2年から。実家のある新居浜市のクラブチームに入り、内野手で打順は1、2番か9番が多かった。中学校に入ってもクラブチームで野球を続け、スポーツ推

薦(特待生)で新田高校に入学した。高校では実家を離れて寮生活を送る。彼を含めチームの同年代14人のうち5人が寮生だという。

「男子寮では、いろんな部の学生がいます。部活の大変さも共有し、何でも相談でき励まされることも多く、楽しいですね。学力優秀の特待生もいるので、テスト前は教えてもらったりできるんです。野球の仲間だけでなくクラスにも友達が増えて、充実した高校生活を送っています」

勉強の方は数学が得意で英語は苦手という。試合で遠征のときはチーム仲間のお母さんが弁当を作ってくれたり、「こつこつと充実した生活を送れるのも母ががんばってくれているから。大事な試合があるときは必ず応援に駆けつけてくれるんです。本当に感謝しています」

母・得里さん(44)は新居浜市の保育園で働いている。実家は、得里さんと難病を抱えた母方の祖母・操子さん(68)の2人暮らし。姉・真穂さん(19)は松山市で下宿しながら看護大学に通う。父・篤史さんは大判さんが1歳のときに交通事故に遭って亡くなった(享年32)。大判さんに父の記憶はない。

「姉とはたまに会います。がんばっている母への恩返しの意味でも、来年は何として甲子園に行きたい。それだけ考えています」

お母さんの背中

伊香浩子さん(54)は北海道函館市で、鹿島道路株式会社道南営業所のパート清掃員として働きながら、高校1年の長男・孝則さん(16)、中学3年の次男・幸則さん(14)と3人で暮らす。

「夫が同営業所で働いていたんです。同僚と旭川市に出張中、スピードの出過ぎで車が転倒し、事故2日後に亡くなりました。同僚もけがを負いましたが、一命はとりとめて。会社が私たちが家族の行く末を心配して、営業所の社員向けの調理係として雇ってくれました。昨年からは息子2人が2年連続受験を控えて、その世話があり、辞めさせてほしいと申し出たら、無理の

にしま方にくいの良て所に営本業当りはてす



伊香 浩子 さん

鹿島道路株式会社道南営業所 清掃員



ない清掃員として働くのはどうかと気遣っていた。営業所の方には本当に良くしていただけて、これも夫の人の柄のおかげかなと。仕事は週3日、朝7時半から昼12時までのパート勤務だ。夫の正則さんが亡くなった後、行きつけの居酒屋の店主から、同じく

今 年の夏、伊香さんは「高校奨学生と保護者のつどい」に一人で参加した。孝則さんが理学療法士を目指していて、心塾の学生寮を見ておきたかったからだ。今年のアメリカ語学研修に参加していた孝則さんは、「つどい」には高校のバスケットボール部の練習と実力テストの準備が重なり、欠席した。

「初参加でしたが、講演では保護者の方が私と同じ経験、思いを共有していることが分かって、本当に良かったと思います。心塾も素晴らしい設備で安心しました。また、東京の水族館など一人で観光して回り、久しぶりに気晴らしができました」

息子2人はとてもがんばり屋で、長男は習字の成人部で初段、珠算5段(暗算)で、次男も習字の成人部に入り、珠算9段(暗算)です。目標だった、珠算2段の夫をすでに追い越し、仏壇には大会優勝時の盾やトロフィーを飾っています

伊香さんは家庭菜園にトマトや枝豆、キュウリを植えている。友人を招き、とれたての野菜で、パーベキューを開くのが家族の楽しみだ。

夫の職場、思いを込めて清掃

「夫が同営業所で働いていたんです。同僚と旭川市に出張中、スピードの出過ぎで車が転倒し、事故2日後に亡くなりました。同僚もけがを負いましたが、一命はとりとめて。会社が私たちが家族の行く末を心配して、営業所の社員向けの調理係として雇ってくれました。昨年からは息子2人が2年連続受験を控えて、その世話があり、辞めさせてほしいと申し出たら、無理の

なかったのは15年前(享年31)。伊香さんは1歳ちょっとの孝則さんを抱え、お腹には幸則さんがいて、事故の4か月後に出産した。「最初は何か起こったのかわからず、その頃のことにはほとんど何も覚えていません。ただ、後から振り返れば、亡くなった夫のために社葬までしていただけて、同僚と取引先の方が大勢出席され、夫がこんなにもい

客で来ていた正則さんを紹介されたことだった。伊香さんが「9歳年上の女房」だ。正則さんは青森県三沢市の出身で、函館は伊香さんの地元。近くには伊香さんの両親や姉家族も住んでいて、親戚や知人も多く、何かと心強いという。「子どもが小さいときは営業所の援助で保育園にも通わせていただきました。お世話になってもう14年目に入ります。夫が長らく勤

あしながおじさんの広場



【7月】
貴団体の活動に賛成し
ております。
(東京都I・Tさん)

◇
(埼玉県H・Yさん)

広報紙「君とつばさ」
を拝読しております。若
い人たちが目標に向かっ
て努力している姿に、逆
に私が励まされます。
(埼玉県H・Yさん)

◇
(埼玉県H・Yさん)

残りの人生も少なく何
か少しでも役に立ちたい
と考えました。まずはで
きるところから。
(新潟県S・Gさん)

【8月】
皆さんの夢が実現する
よう応援しています。
(愛知県F・Nさん)

◇
私は定時制高校へ入学
し、苦学しました。期待
たらと思っています。

うれしいことがあった
ときに蓄えておいて、皆
さんの力に少しでもなれ
たらと思っています。

安全やコンプライアンス
に向き合いながら、運輸
や交通に従事しています。
(東京都K・Jさん)

◇
6月に父を亡くしまし
た。父は交通課の警察官
た。父は交通課の警察官

福岡「飲酒運転ゼロを誓う、市民の集い」



8月25日、「飲酒運
転ゼロを誓う、市民の
集い2018」が福岡
市中央区の同市役所広
場で開催され(福岡市
と福岡市交通安全推進
協議会などが主催)、
多数の団体に交じり、
育英会からは石橋健一
専務理事ら3人が参加
した。「飲酒運転撲滅!!
飲酒運転は、しない、
させない、許さない」
ののぼり旗を立て、育
英会のブースではA.C
キャンペーンポスター
を貼り、交通安全の啓
発に努めた(写真)。

その様子は、地元テレ
ビのニュースでも紹介
された。
「市民の集い」は、
展示ブースによる啓発
イベントと飲酒運転撲
滅宣言大会の2部構成
大会では、黙祷に続き、
同協議会会長を務める
高島宗一郎福岡市長が、
「飲酒運転による交通事
故は少なくなっているも
の、まだまだゼロには
遠く、今年はずで一人
の方が「く」なっている。

私が先頭に立って、飲酒
運転撲滅への取り組みを
進めていくとあいつ。
その後、飲酒運転撲滅宣
言を行ったほか、飲酒運
転撲滅の思いを込めた折
り鶴披露式・伝達式があ
り、参加者全員で飲酒運
転を「しない・させな
い・絶対許さない。そし
て、見逃さない」の「3
ない運動+1」を唱和。
締め括りに、飲酒運転
特別取締部隊の出動式
で大会を終了した。

交通遺児育英会の連絡先(平日 9:00~17:30)

▽つどい・語学研修について	0120-521219
▽募金・寄付について	0120-521285
▽奨学金貸与について	0120-521286
▽返還・猶予・免除について	0120-521287
▽成績相談などについて	0120-521295
▽心塾入寮申し込みについて	0120-355619

ご支援に感謝いたします

育英会から

トピー工業 様

社会からの信頼と
共感を得るために
鉄鋼やホイール、建設機械の足
回り等の製品を手掛ける同社は、
「トピー工業グループの存続と発
展を通じて、広く社会の公器とし
ます。」

の責務を果たし、内外の信頼を
得る」という基本理念のもと、モ
ノづくりを通じて持続可能な社会
の実現に努めておられます。社会
貢献活動にも積極的に取り組まれ
交通遺児支援のため永年にわたり、
当会にご寄付をお寄せになってい
ます。

◇
(埼玉県H・Tさん)

自損事故で車を廃車し
てしまいました。歩行者
部を交通遺児のために役
立ててほしい、という遺
志に従って寄付させて頂
きます。
(神奈川県Y・Hさん)

◇
(神奈川県Y・Hさん)

◇
バスやタクシーなどの
社会に勤める者です。日々、察に通報し、協力をし
て頂いたお金のす。
(東京都O・Sさん)

◇
施設で育って、大学に
自力で行く子どもにも援
助が届くと、ありがたい。
(神奈川県N・Jさん)

【9月】
すこやかな成長をお祈
りしております。
(沖縄県U・Rさん)

◇
いつも素晴らしい活動
ありがとうございます。
(岐阜県K・Cさん)

宝くじは、 みなさまの豊かな暮らしに 役立っています。



宝くじは、図書館や動物園、学校や公園の整備をはじめ、
少子高齢化対策や災害に強い街づくりまで、
さまざまなかたちで、みなさまの暮らしに役立っています。